

令和5年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門

政策No	23	政策名	区民の多様な学習活動と誇りと愛着ある郷土意識の醸成を支援する
所管部	教育委員会事務局教育推進部	関係部	総務部

2 政策のめざす方向性

人生100年時代の到来により、全ての区民が生涯にわたり、いつでもどこでも自由に学ぶことができる生涯学習施設の機能を充実します。大学や研究機関、企業、NPOなどの多様な学習資源が集積する区の特性を生かし、区民の生涯学習の機会と学びの成果を生かす機会を充実します。地域の情報拠点として多様な利用者ニーズに応える図書館サービスの向上を図り、区民の学習活動を支援します。有形無形の文化財、史跡、旧跡、名勝、天然記念物など多彩な自然・歴史文化資源の保全・継承・活用を促進し、区民の誇りと愛着ある郷土意識の醸成を支援します。

SDGsとの関係			
----------	---	---	---

3 成果指標【政策について満足している区民の割合】

指標の推移		目標値		達成度 ※	※評価方法 A：中間目標値に到達しており、計画目標を達成できる可能性がある。 B：中間目標値に到達していないが、計画目標を達成できる可能性がある。 C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和元年度）も下回っているが、計画目標を達成できる可能性がある。 D：中間目標値に到達しているが、計画目標を達成できる可能性がない。 E：中間目標値を下回っており、計画目標を達成できる可能性がない。
現状値	実績	中間目標値	計画目標値		
令和元年度	令和4年度	令和4年度	令和8年度末		
25.7%	42.3%	27.6%	30.3%	A	

これまでの取組と成果

- ・コロナ禍で外出自粛が求められる状況においても、オンラインでの生涯学習講座を実施するなど、生涯学習に取り組むことのできる機会を創出しました。
- ・令和4年4月1日に、港区立として最大の規模の三田図書館が移転開設しました。
- ・感染防止対策を徹底するとともに、各種プログラムの見直しなどを行うことで郷土歴史館の来館促進を図り、令和4年度には10万人を超える利用がありました。

課題と今後の方向性

※未達成の場合は原因分析を含む

コロナ禍における新たな取組の展開や既存事業の見直し等により、区民満足度が向上したと考えられます。引き続き、多様な利用者ニーズを的確に捉え、区民満足度のさらなる向上に取り組めます。

4 施策の取組状況【施策評価結果】（詳細は別紙「施策評価シート」）

No	施策名	成果指標	施策評価
①	生涯学習施設の機能の充実	生涯学習施設（生涯学習センター及び青山生涯学習館）の利用率	A
②	学習機会及び学びの成果を生かす機会の充実	生涯学習に主体的に取り組む数 （地域ボランティアやまなび屋講座などに登録した人数・団体数の合計）	A
③	図書館サービスの推進	図書館サービスに対して、満足している利用者の割合	A
④	自然・歴史文化資源の保全・継承・活用の推進	郷土歴史館文化財資料の所蔵件数 文化財のデジタル公開件数	A
⑤	区民が誇りに思える郷土意識の醸成	郷土歴史館の延べ利用者数 小・中学校、高校の郷土歴史館の見学実績（児童・生徒の見学者数）	A
⑥			

5 予算額・決算額・執行率（単位：千円）

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額	2,376,787	2,493,842	2,279,809
流用・補正	6,503	41,832	-
決算額	2,345,829	2,489,780	-
執行率	98.43%	98.17%	-

6 政策を取り巻く社会経済情勢等

<p>計画期間中の社会経済状況等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会経済状況、人口動向、財政状況、国や東京都等の動向など 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年、「第11期中央教育審議会生涯学習分科会」において、生涯学習・社会教育が果たしうる役割が議論・整理されました。 ・令和3年9月に高輪築堤跡が「旧新橋停車場跡及び高輪築堤跡」として国史跡に追加指定されるとともに、令和4年度には「鉄道開業150周年」として様々な事業が開催される等、文化財への関心が高まっています。
<p>区民ニーズ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民意識調査 ・区民から寄せられた意見など 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進計画改定に向けたアンケートでは、生涯学習施設について、施設を知らないという回答が多い一方で、今後行ってみたい生涯学習の場所は「公共施設の学習スペース（生涯学習施設・図書館・区民センターなど）」が多くなっており、施設利用に対する潜在的なニーズは高いことがわかります。 ・図書館サービス推進計画改定のためのアンケートでは、今後利用したいサービスとしてWi-Fiの利用などのICT関連サービスが多く挙げられています。

7 所管課による評価【一次評価】

<p>政策の達成状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても、オンラインの活用や事業の見直しなどを通じて、政策のめざす方向性に掲げる、多様な学びや郷土意識の醸成の支援につなげています。 ・政策全体として、施策「図書館サービスの推進」が中間目標値に到達しているほか、その他の施策についても目標値達成の可能性があり、政策目的をおおむね達成できています。
<p>達成状況の要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の有効性が高かった点 ・施策の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点など 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策「図書館サービスの推進」について、蔵書の充実や設備の改修などの取組により、図書館利用者の高い満足度の確保につなげることができました。 ・施策「学習機会及び学びの成果を生かす機会の充実」について、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、まなび屋の登録者（講座）や社会教育関係団体の登録更新がされない状況等があり、計画どおりの成果が得られていません。
<p>課題と今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施策「学習機会及び学びの成果を生かす機会の充実」では、新たに創設した支援制度を効果的に周知し、利用促進に取り組むとともに「まなび屋」における教えたいたい人と学びたい人をつなぐ新たな仕組み（マッチング制度等）を検討します。 ・施策「自然・歴史文化資源の保全・継承・活用の推進」では、文化財資料のデジタル化が予定通り進んでいないため、デジタル化に向けた体制を確保し、新規の公開を進めていきます。

8 港区行政評価委員会による評価【二次評価】

<p>評価※</p>	A：政策目的を十分に達成できる。
<p>政策の達成度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学びたい人と教えたいたい人をつなぐマッチングの仕組みの検討・充実などをとおして目標を達成できることが期待できます。 ・図書館における無線LAN環境の拡充、文化財のデジタル公開の拡充や、コロナ禍にあって郷土歴史館の動画コンテンツの配信を行ったことは評価できます。
<p>今後の政策の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点的に取り組むべき施策など 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央教育審議会生涯学習分科会の議論を踏まえた、地域コミュニティの基盤を安定させる「学び」を将来に渡り実現できるような環境づくりが望まれます。 ・文化財について、収蔵のあり方を検討した上で、デジタル化や企画展の実施等、収蔵品の積極的な公開が望まれます。

※評価の目安

政策評価	施策評価 (最も低い施策の評価で判断)	政策の成果指標の達成度
A：政策目的を十分に達成できる。		A
B：政策目的をおおむね達成できる。		C以上
C：政策目的を達成するために改善が必要である。		上記以外

施策評価シート

政策No	23	政策名	区民の多様な学習活動と誇りと愛着ある郷土意識の醸成を支援する		
施策No	1	施策名	生涯学習施設の機能の充実		
目標・期待する成果	みんなと学びをつなぐまちの実現に向け、生涯学習施設において区民の生涯学習が一層充実できるよう、生涯学習情報の発信を推進します。また、多様な学びの機会を提供するため、区民等からなる団体や民間企業、大学等の様々な主体との連携を図ります。				
SDGsのゴールとの関係	  				
施策担当課	生涯学習スポーツ振興課		関係課		
担当者名	森	内線	4712		

1 成果指標の達成度

成果指標①	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
生涯学習施設（生涯学習センター及び青山生涯学習館）の利用率	44.88%	49.10%	61.57%	70.00%	60%	70%
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	a	従来から実施している生涯学習情報の発信や社会教育関係団体・近隣企業・NPO等と連携した事業のほか、オンライン講座を実施し、外出自粛が求められる状況でも生涯学習に取り組むことのできる環境を創出しました。		引き続き、生涯学習情報の発信、企業・NPO等との連携を通じて、施設の機能の充実を図ります。また、オンライン配信環境をより一層活用し、可能な限り講座の受講者が対面参加又はオンライン参加を選択できるようにしていきます。		
令和4年度	a	令和4年度後半は、新型コロナウイルス感染症も落ち着き、オンライン講座のほか、従来どおりの参集型講座も実施しました。また、引き続き、生涯学習情報の発信や社会教育関係団体・近隣企業等と連携し、区民等の生涯学習を支援しました。		ライブ配信、録画配信等のオンライン講座や参集型など、利用者のニーズに応じた様々な実施方法で事業を実施する必要があります。		
令和5年度	a	これまでのオンライン講座等の参加状況を踏まえ、誰もが、いつでも、どこでも学習可能な形態（ライブ配信、録画配信等）での講座数増に取り組めます。		/		

a : 予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b : 予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c : 中間目標値に到達する可能性がない。 - : 指標値を把握できない。

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度						
令和4年度						
令和5年度						

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

2 施策評価

評価	A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
施策の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ICTの普及や新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきたこともあり、オンライン講座に加え、参集型講座も再開しました。 ICTを用いた情報発信を積極的に実施しましたが、新たな参加者増にはつながっていません。 引き続き、社会教育関係団体・近隣企業等と連携し、区民等の生涯学習を支援しました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標について、新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたため、施設で生涯学習活動を再開した団体があったほか、参集型講座が増加したことにより達成できました。
課題と今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習施設における区民の生涯学習環境が一層充実するよう、情報発信の強化と相談機能の拡充について、検討します。 ライブ配信、録画配信等のオンライン講座や参集型講座など、利用者のニーズに応じた様々な実施方法で事業を提供できるよう検討します。

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。

B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。

C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。

D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。

E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。

施策評価シート

政策No	23	政策名	区民の多様な学習活動と誇りと愛着ある郷土意識の醸成を支援する
施策No	2	施策名	学習機会及び学びの成果を生かす機会の充実
目標・期待する成果	みんなと学びをつなぐまちの実現に向け、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を踏まえ、あらゆる場所、あらゆる機会において、主体的に学ぶことができる環境づくりをめざします。		
SDGsのゴールとの関係	 		
施策担当課	生涯学習スポーツ振興課		関係課
担当者名	森	内線	4712

1 成果指標の達成度

成果指標①	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
生涯学習に主体的に取り組む数（地域ボランティアやまなび屋講座などに登録した人数・団体数の合計）	346件/年	367件/年	354件/年	401件/年	401件/年	416件/年
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	a	<p>区の生涯学習事業を通じて、区民等の学習機会や日頃の生涯学習の成果を生かす機会を提供しました。</p> <p>特に、オンライン化した事業では、従来ではあまり参加のなかった40代以下の区民等の参加がありました。</p>		<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、PTAを対象とした家庭教育学級や体験事業が中止となるなど、団体での学びの機会が減少しています。</p> <p>感染拡大状況下であっても、学ぶ場を確保できるよう、オンライン講座等のさらなる拡大を図り、誰もがいつでもどこでも気軽に参加できる環境を整えていきます。</p>		
令和4年度	b	<p>まなび屋の講座登録数は減少しましたが、PTAが実施する児童・生徒の自然体験事業への補助制度を、大規模校も公平に支援できるよう基準を見直したほか、学びの循環事業（まなマルシェ）の受講者の自主的な講座の企画・実施を支援する制度を創設しました。</p> <p>また、オンラインにより実施した事業では、引き続き、若い世代の参加がありました。</p>		<p>学びたい人と教えたい人を繋げる事業「まなび屋」は、教えたい人の登録期間中に一回も利用されない講座もあるため、教えたい人と学びたい人をつなぐ新たな仕組みの検討が必要です。</p>		
令和5年度	a	<p>まなび屋において、教えたい人と学びたい人をつなぐ新たな仕組み（マッチング制度等）について検討します。</p>		/		

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度						
令和4年度						
令和5年度						

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

2 施策評価

評価	A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
施策の達成状況	・令和4年度の実績は下がったものの、PTAを対象とした体験事業の補助金交付基準の見直しや、学びの循環事業（まなマルシェ）の受講者が、自主的に講座を企画・実施する際の講師謝礼負担制度を設け、区民が主体的に学ぶ環境の向上を図りました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	・成果指標については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、まなび屋の登録者（講座）や社会教育関係団体の登録更新がされない状況等があり、計画どおりの成果が得られていません。
課題と今後の方向性	・令和4年度に実施した補助金交付制度の見直しや、新たに創設した支援制度を効果的に周知し、利用促進に取り組みます。 ・学びたい人と教えたい人を繋げる事業「まなび屋」は、講座の登録期間中に一回も利用されない場合があるため、教えたい人と学びたい人をつなぐ新たな仕組み（マッチング制度等）について検討します。

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。
D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。
E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。

施策評価シート

政策No	23	政策名	区民の多様な学習活動と誇りと愛着ある郷土意識の醸成を支援する		
施策No	3	施策名	図書館サービスの推進		
目標・期待する成果	誰もが生涯をとおして、自由に資料を手に取り、知識や情報を得ることができるという図書館の本質を重視し、利用者の知りたい・学びたいという思いに応える図書館サービスの実現をめざします。				
SDGsのゴールとの関係	 				
施策担当課	図書文化財課		関係課		
担当者名	野津	内線	3890		

1 成果指標の達成度

成果指標①	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
図書館サービスに対して、満足している利用者の割合	71%	94%	94%	95%	85%	90%
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	a	令和2年度と令和3年度の利用者アンケートで、満足度の選択肢を5段階から4段階に変更したため単純な比較はできませんが、94%の利用者が満足と回答しています。		項目別の満足度では、無線LAN環境に対して満足度が低い傾向にあります。利用可能エリアの拡大等無線LAN環境を拡充していきます。		
令和4年度	a	令和4年4月1日に、三田図書館が港区立図書館として最大の面積及び最多の蔵書をもつ図書館として移転開設しました。全図書館の利用者アンケートによると、94%の利用者が満足と回答しています。		項目別の満足度では、無線LAN環境に対して満足度が低い傾向にあります。令和4年度に三田図書館及び高輪図書館分室の無線LAN環境拡充を実施しました。令和5年度は残りの全館で拡充を予定しています。		
令和5年度	a	令和5年度中に、全図書館で無線LANの拡充を実施します。また、令和6年4月に台場区民センター図書室から図書館に移行する台場図書館の開設準備を実施します。		-		

a : 予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b : 予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c : 中間目標値に到達する可能性がない。 - : 指標値を把握できない。

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度						
令和4年度						
令和5年度						

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

2 施策評価

評価	A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
施策の達成状況	・施策の評価は、成果指標が計画目標値を大きく上回る見込みのためAとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点など	・令和4年4月に三田図書館が移転開設し、特に子どもの利用者が増え、来館者が約10%増加しました。 ・コロナ禍の令和3年11月に、電子書籍サービスを開始しました。 ・令和3・4年の2年間で、蔵書数が5万点以上増加しました。 ・令和2・3年度に、みなと及び高輪図書館でトイレの改修を実施しました。
課題と今後の方向性	・図書館利用者でも約4割の人に電子書籍サービスを知られていないことから、認知度を高める必要があります。 ・資料の閲覧や貸出以外の図書館サービスについて情報発信を強化する必要があります。 ・台場図書館について、地域特性を踏まえた蔵書など、地域性を踏まえた魅力ある図書館としての開設準備を行います。

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。

B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。

C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。

D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。

E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。

施策評価シート

政策No	23	政策名	区民の多様な学習活動と誇りと愛着ある郷土意識の醸成を支援する		
施策No	4	施策名	自然・歴史文化資源の保全・継承・活用の推進		
目標・期待する成果	文化財の収集、保存、調査研究等を進めるとともに、自然・歴史文化資源の保全、継承、活用などを推進します。				
SDGsのゴールとの関係	 				
施策担当課	図書文化財課		関係課	総務課、教育長室	
担当者名	山本	内線	3895		

1 成果指標の達成度

成果指標①	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
郷土歴史館文化財資料の所蔵件数	77,552件	78,421件	78,741件	79,000件	79,000件	81,000件
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	a	区民からの寄贈、外部からの資料購入、埋蔵文化財の遺物など区にとって貴重な文化財資料の収集を進めました。		今後も、区の歴史が理解できる貴重な文化財資料の収集に積極的に取り組めます。		
令和4年度	a	区民からの寄贈、外部からの資料購入、埋蔵文化財の遺物など区にとって貴重な文化財資料の収集を進めました。		今後も、区の歴史が理解できる貴重な文化財資料の収集に積極的に取り組むとともに、新収蔵資料展などの企画展に収集した資料を公開して活用していきます。		
令和5年度	a	区民からの寄贈、外部からの資料購入、埋蔵文化財の遺物など区にとって貴重な文化財資料の収集を進めていくとともに、収集した資料を区民に還元するため、企画展などで公開していきます。				

a : 予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b : 予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c : 中間目標値に到達する可能性がない。 - : 指標値を把握できない。

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
文化財のデジタル公開件数	117件	117件	117件	250件	250件	400件
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	b	文化財保護関係業務の実施に努める中、個別の文化財資料のデジタル化の取り組みができませんでした。		資料の収集が進んでいる浮世絵や地図、写真などに重点を置いて、文化財資料のデジタル化に向けた取り組みを集中的に進めていきます。		
令和4年度	b	文化財保護関係業務の実施に努める中、点数が多く個別の文化財資料のデジタル化に向け準備を進めていましたが、新規の公開をすることができませんでした。		郷土歴史館が所蔵している資料を区民に還元していくため、資料の収集が進んでいる浮世絵や地図、写真などからデジタル化を進めていきます。		
令和5年度	a	郷土歴史館が所蔵している資料を区民に還元していくため、資料のデジタル化に向けた体制を確保し、デジタル化を進めていきます。				

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

2 施策評価

評価	A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
施策の達成状況	・一つの指標に進捗がない現状ですが、体制を確保してデジタル化を進めていくことから、Aとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	・区民からの寄贈や埋蔵文化財の遺物などが増えている。 ・埋蔵文化財行政や、郷土歴史館企画展示業務が繁忙の中、資料のデジタル化を進めることができませんでした。
課題と今後の方向性	・文化財資料のデジタル化に向けた体制を確保する必要があります。

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。
D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。
E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。

施策評価シート

政策No	23	政策名	区民の多様な学習活動と誇りと愛着ある郷土意識の醸成を支援する		
施策No	5	施策名	区民が誇りに思える郷土意識の醸成		
目標・期待する成果	郷土歴史館で行う文化財という地域資源の保護をとおして、港区民として郷土を誇れるまちにします。				
SDGsのゴールとの関係	 				
施策担当課	図書文化財課		関係課		
担当者名	山本	内線	3895		

1 成果指標の達成度

成果指標①	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
郷土歴史館の延べ利用者数	78,201人	75,216人	103,155人	130,000人	130,000人	160,000人
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	b	新型コロナウイルス感染拡大の状況下で、回遊型のイベント等、密にならない内容に切り替えたり、オンラインで閲覧できる動画コンテンツを作成するなど、来館が難しい方にも歴史館に親しんでいただくコンテンツを展開しました。		今後の新型コロナウイルスの感染状況が不透明な中、適切な感染防止策を実施しながら、より多くの来館者にきていただけるよう、イベント内容を工夫するとともに、オンラインで閲覧可能な動画コンテンツの作成も継続して実施していきます。		
令和4年度	b	新型コロナウイルス感染症の流行が収まらない中であっても、感染防止対策を徹底し、各種プログラムの見直しやSNS運用による情報発信力の強化、オンラインコンテンツの拡充などを行い、来館促進に繋がりました。		新型コロナウイルス感染症が5類に見直されることに伴い、さわれる展示室の再開を行い、何度でも郷土歴史館にお越しになるようなプログラムの充実や新たな利用者の獲得を実施し、魅力向上に努めていきます。		
令和5年度	a	SNS等をつうじて、企画展や、コミュニケーションルームの触れる展示を積極的に広報し、歴史館の魅力を体感していただく機会を創出します。		/		

a : 予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b : 予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c : 中間目標値に到達する可能性がない。 - : 指標値を把握できない。

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
小・中学校、高校の郷土歴史館の見学実績 (児童・生徒の見学者数)	41人/年	500人/年	1,209人/年	1,500人/年	1,150人/年	1,300人/年
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	b	新型コロナウイルス感染防止策を徹底した学習プログラムの提案、スケジュールの調整、児童の誘導に取り組むとともに、オリジナルの定員設定を行い、安全・安心に見学ができるよう努め、前年度実績を大幅に上回りました。		新型コロナウイルスの感染状況をにらみながら、適切な感染防止策を取り、社会科学習等を中心に、学校見学の受け入れについては積極的に対応していきます。		
令和4年度	a	新型コロナウイルス感染症対策を徹底した学習プログラムの提案や、スケジュール調整などを行ったことで、見学実績が大幅に増加しました。		新型コロナウイルス感染症が5類に見直されることに伴い、社会科学習等を中心に、学校見学の受け入れに積極的に対応していきます。		
令和5年度	a	子どもたちにとって、港区の郷土の歴史に触れる貴重な機会であるため、社会科学習等を中心に、学校見学の受け入れに積極的に対応していきます。				

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

2 施策評価

評価	A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
施策の達成状況	・施策の評価は、成果指標が計画目標値を上回る見込みのためAとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	・各種プログラムの見直し ・新型コロナウイルス感染症の感染対策の徹底による来館促進
課題と今後の方向性	・魅力的な企画展示やSNS等を活用した効果的な情報発信により、郷土歴史館のリピーターと新たな利用者を獲得します。

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。
D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。
E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。